

水稻病害虫発生調査結果

第3号 <9月6日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

▶病害虫調査結果（調査月日：9月3日 調査ほ場：たつの市5ほ場 太子町1ほ場）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病(葉いもち)	一部の圃場で発生が確認されました。
紋枯病	一部の圃場で発生が確認されました。
縞葉枯病	今回の調査では確認されませんでした。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	セジロウンカ、ヒメトビウンカ及びツマグロヨコバイを確認しました。
カメムシ類	一部の圃場でクモヘリカメムシ及びシラホシカメムシを確認しました。
イネカメムシ	今回の調査では確認されませんでした。

【近畿地方向こう1か月(8月31日～9月30日)の天候の見通し】（大阪管区气象台発表）

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

- ・ 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が80%です。
- ・ 週別の気温は、1週目と2週目は高い確率80%、3～4週目は高い確率70%です。
- ・ 降水量はほぼ平年並でしょう。

2 害虫防除のポイント

(1) 発生状況

ウンカ類の発生が多い圃場が見受けられました。ヒメトビウンカは、縞葉枯病の発生にもつながります。発生の抑制については、周辺の保全管理圃場等を含めた雑草防除が大切になりますので、栽培暦等を参考に、適切な時期の防除をお願いします。

斑点米カメムシ類については、令和6年8月2日に兵庫県病害虫防除所から斑点米カメムシ類の注意報が発表されています。幼虫・成虫ともに稲の穂から吸汁し、斑点米の混入や穂が実らない「青立ち症」や屑米が多くなるなどの被害を発生させます。

(2) 今後の発生予想

气象台によると、今後1ヶ月も気温が高いとされているため、斑点米カメムシ類の加害に好適な条件となり注意が必要です。

(3) 防除の留意点

乳熟期以降に吸汁されると斑点米になる玄米が発生します。

この時期に水田に多く生息するカメムシ類は、飛来成虫が産んだ卵から孵化した幼虫です。この幼虫の密度を下げるのが重要ですので、出穂期から防除を行ってください。



クモヘリカメムシ

農薬等は JA 兵庫西の 2024 年度水稻栽培暦を参考にしてください。